

死 亡 届

令和 年 月 日 届出

大 使 殿
総領事

受 理 令 和 年 月 日			
第		号	
書類調査	戸籍記載	記載調査	調 査 票
附 票		住 民 票	
通 知			

公 館 印

(1)	(フリガナ)	
(2)	氏 名	氏 名 ☐ 男 ☐ 女
(3)	生 年 月 日	年 月 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) ☐ 午前 ☐ 午後 時 分
(4)	死 亡 した とき	年 月 日 ☐ 午前 ☐ 午後 時 分
(5)	死 亡 した ところ	番 地 番 号
(6)	住 所	
(7)	本 籍	番 地 番 号
(8)	死 亡 した 人 の 夫 また は 妻	☐ いる (満 歳) ☐ いない (☐ 未婚 ☐ 死別 ☐ 離別)
(9)	死 亡 した とき の 世 帯 の お も な 仕 事 と	☐ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☐ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤務者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者の世帯 ☐ 6. 仕事をしている者のいない世帯
(10)	死 亡 した 人 の 職 業 ・ 産 業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください) 職業 産業
(11)	そ の 他	

記入の注意

届書はすべて日本語で書いてください。
鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
死亡したことを知った日からかぞえて3か月以内に出してください。

→ 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

→ 「死亡したところ」は「死亡したとき」とともに戸籍に書かれますので、くわしく国名から番地まで書いてください。
なお、次の地域については、国籍に代えて地域を記載することができます。
①台湾
②パレスチナ
(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)
病院名を書く必要はありません。

→ 「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

→ 内縁のものはふくまれません。

☐には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

→ 死亡者について書いてください。

届書及び死亡を証する書面(外国官公署の発行する死亡登録証明書又は医師が作成した死亡証明書)は、それぞれ原本1通と写し1通出してください。
外国文の証明書には翻訳者を明らかにした和訳文を添付してください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)にも用いられます。

届 出 人	☐ 1. 同居の親族 ☐ 2. 同居していない親族 ☐ 3. 同居者 ☐ 4. 家主 ☐ 5. 地主 ☐ 6. 家屋管理人 ☐ 7. 土地管理人 ☐ 8. 公設所の長 ☐ 9. 後見人 ☐ 10. 保佐人 ☐ 11. 補助人 ☐ 12. 任意後見人 ☐ 13. 任意後見受任者
	住 所
	本 籍 番 地 番 筆頭者の氏名
	署 名 (※押印は任意) 印 年 月 日生

→ 届出人の署名は、はっきりと読めるように本人が書いてください。なお、外国人が外国語で署名する場合は、その「よみかた」をカタカナで併記してください。

事 件 簿 番 号

(届出人の連絡先及び電話番号

)

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

氏名	1男 2女		生年月日	明治 昭和 令和 年 月 日 大正 平成 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)	午前・午後 時 分
	生年月日が不詳の場合は推定年齢をカッコを付して書いてください。				
死亡したとき	令和 年 月 日 午前・午後 時 分 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。				
(12) (13) 死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	1病院 2診療所 3介護医療院・介護老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他			
	死亡したところ	番地 番 号			
	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()			
(14) 死亡の原因	I	(ア)直接死因			
		(イ)(ア)の原因	発病(発症)又は受傷から死亡までの期間		
		(ウ)(イ)の原因	◆年、月、日等の単位で書いてください		
		(エ)(ウ)の原因	ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください		
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等	(例:1年3か月、5時間20分)		
		手術	1無 2有	手術年月日	令和 平成 昭和 年 月 日
(15) 死因の種類	1病死及び自然死				
	外因死 不慮の外因死 (2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焰による傷害) 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死(9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因) 12不詳の死				
(16) 外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和・平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分			傷害が発生したところ
	傷害が発生したところの種別	1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他()			
	手段及び状況				
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	単胎・多胎の別			妊娠週数
	グラム	1単胎 2多胎(子中第 子)			満 週
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日			前回までの妊娠の結果
(18) その他特に付言すべきことがら	1無 2有 ()			3不詳	出生児 死産児 (妊娠満22週以降に限る)
	昭和 平成 令和 年 月 日				
(19) 上記のとおり診断(検案)する	診断(検案)年月日 令和 年 月 日				
	本診断書(検案書)発行年月日 令和 年 月 日				
	番地 番 号				
(氏名) 医師					